





ふりがな 氏名	てらち たかし	都道府県	北海道	
	寺地 高志			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニセコ町地域おこし協力隊(ニセコ町役場企画環境課)</li> <li>・SDGs de 地方創生公認ファシリテーター</li> </ul>			
関心・活動のSDGs	  			
私のESD活動	NGOにて平和構築や地球規模課題の教育プログラム運営等に従事し、現在はSDGsの理解促進のために活動			

## 活動の概要

【2013年～ 国際環境 NGO グリーンピース:インターン】主に海洋生態系保護の活動に従事。大手小売業者に向けてアンケートを実施しつつ、持続可能な海洋資源の調達等を要請する活動に参画した他、イベントで参加者にマグロやウナギをはじめとした海洋資源の減少について知ってもらうべく活動。

【2014年～ 青年海外協力隊:環境教育隊員】2年間、中米グアテマラ共和国にて主にゴミ問題の解決に従事。主に小学校に赴き、子どもたちや先生に向け、ごみをゴミ箱に捨てることの重要性や分別の必要性などを授業。

【2016年～ 国際 NGO ピースボート:スタッフ】主に平和構築の分野で活動。核兵器のない平和な世界を作るために、広島・長崎の被ばく者の方の各国での証言活動をサポートした。また、船内では乗船者に向けた講座やワークショップ、研修等も企画実施し、核兵器などの問題について学ぶ機会を設けた。他、より広い範囲の地球規模課題を学ぶプログラムの実施に参画。2018年より被災地支援業務に従事。

【2019年～ 北海道ニセコ町:地域おこし協力隊】2019年5月より、SDGs未来都市に認定されているニセコ町役場の企画環境課に所属し、SDGsの理解促進に向け活動。町の広報誌でSDGsのコラムを掲載している他、子どもたちに向けた授業等も実施しはじめている。SDGsの理解促進に努めつつ、地方からSDGsを盛り上げていきたい。

・第92回ピースボート「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」報告 <https://peaceboat.org/17009.html>

・北海道ニセコ町 HP 内広報ニセコ7月号「みんなでSDGs」 [https://www.town.niseko.lg.jp/koho\\_niseko/h31/r0107/](https://www.town.niseko.lg.jp/koho_niseko/h31/r0107/)

## 私が考える教育の未来像

今後は「SDGs的視点を持つ人材を醸成する」ことが非常に大切になってくると考えている。経済成長が鈍化する一方で地球環境は悪化の一途をたどり、コミュニティは崩壊し、他者とのコミュニケーションが希薄化する昨今。

これからは、SDGsといった概念、尺度を用いながら、思い描く「持続可能な未来」を実現するためにはどうすべきなのか、どんな問題があるのか、といったことを子どものうちから学び、考える機会を持つことが必要になってくるように思う。未来を見通す眼を身につけつつ、自身の未来のみならずより広い視野で問題を真摯に受け止め、適切なアクションを取れるような人材の醸成に微力ながら取り組んでいきたい。

## 私の強み、活かせる経験やスキル

様々な職場や団体に身を置いてきたことによる「複眼的視点」は自身の強みだと考えている。国際的なNGOでの活動や途上国での活動、政府高官や行政機関、NPO等とのやり取りや協働、被災地での支援活動や「被ばく者」の方といった被害者に寄り添った活動経験やそうした現場での知見は、様々な場面で活かせると思う。

また、現在は北海道ニセコ町に移住し、地域おこし協力隊として活動していることから、地方における持続可能性といった分野でも知見は活かせるように思う。ニセコ町は他の自治体と比べても環境や持続可能な開発などへの取り組みが盛んであることから、その事例紹介や提供なども可能である。